湖月抄 第十九

宮曙文庫

夕顔　并二

源氏十六歳の春より十月まくの事なり。
されと是の并也。以歌并詞為巻名也。須よりの今くさあり
をうん夕顔とは伯とあり。斉　かわてまそれとそなる
白露の夕顔の花　ちりてそそれとも
こめ　ぬそれよりのくさの花乃夕顔なり

六条わたりの御息所のもとへ
細　六条の御息所のもとへ書おくり。帚木巻
五ひくのはしこめ　あるわ
はしこありめ　ぬれもと
氏治　りあさり　細　氏の息所は
前坊の小方なりしを前坊
くれのひて後源氏密通し
前坊は保明親王諡号文彦太子
よりそらおくれ延喜の御宇
春宮よりそらひて早世也
小方は息所は申扨は息所負
信公の娘よりそらおくれ保
明親王くれそひて後重明
親王の小方よりして春宮
の女御と生まれ　氏物語
の中息所も大臣のひをめと
うあり。准后お尚なり
孟津の抄
大武の乳母　細　源氏の乳
母惟光が母　かの歌乃
ふ歌をよみ　乳母
の子親王三人　源氏の
ハ二人なり

六条わたりの御息所のもとへ　円表
大武の乳母の家の事
ぬ　大武乃乳母とは
ぬ　余所のあ尼　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　

めのと童子の例とぞ八二人めのとぞ歌主のつゝるべ三人さぶらひ下の句よまでぐむ人なきあるやうなりしぐくの行ひ天武のこゝつぎはたまつのあれとこゝろくわり志摘者に使ふこゝろ

こゝろ川　惟光也大武のめのとくの山氏の山家礼者八民部大輔よりつ

ひろ〳〵老たる　細　さいやうのぬし〳〵なりて下京をこの方なりく〳〵

なるべの車よりまた蔀ともてまこの蔀ハこの作りのやうとちこゝ所とえこゝろ後拾遺雜一五月

あくかりの東こゝにまよ女のこゝろ月ちりく行ろと男まゝんみどいひ入させられてこゝ人ちこゝ

こゝろ酒ちこん　孟　こゝのこゝりの人とりく

こゝのこゝりのこく女の床をこゝをまこゝ

こゝろ　いこゝこゝ

こゝこゝりこゝこゝ

こゝこゝ

こゝ車もこゝこゝ

義　細代車こゝよれ長ひ

こゝの代こゝ細代車ハ女こ

ものこゝ物こゝれハ非こゝ

せこゝこゝ余月こゝ物こゝ

て法須こゝ人こゝ財こゝ

こゝこゝ

こゝ

警蹕也警蹕ハ往来の人を

こゝ

こゝ

こゝ

[illegible]

細 白くさけるこゝろをて梅のむとをうつくしくいりて續古今 小侍従ら手にうゝたりうゝ方人より

車四くるまを名をあてゝ夕ゆの花実の心を元明うゝ

西院月 品はうつくしひ名遊のちゝ六位まてうゝ 幾 源氏當皮中ねこ小弦月うゝ

人めうゝ 細 名平八人くしきゝくしたいとつゝていつゝや 桜を紙ゆも夕れかあうゝ

よ仰くゝ去けくゝ右ゝうゝ地しうゝ四ゝうゝ

あゝしゝうゝね 孟五位以上の人の家よいうゝ仏ゝ事ゝ

このゝゝ仏も 河 比西位面せこうゝうゝ 細 二条院ノ勅問・後成ノ流桃波山ようゝうゝ

定あいつゝうゝも可着ゝ。文ゝ相遠いゝゝうゝ。 弟 林の者ゝ四も此何あり。紫式アがムりも

けゝゝ山よゝうゝゝ

ゆめくゝしゝうゝぬ 細 花多樹ゝ河海家ゝとゝゝ。孟 牛の棟梁ゝうゝ

ぬゝうゝかゝり。 紫 紫式ゝ殿ゝうゝてゝ

四ゝの花のゝうゝや ゝゝゝ人

のまゝよいゝむゝしてゝゝ花を

のゝあゝうゝとのゝゝ

うゝゝゝよゝれゝうゝやゝがゝゝ 細 左衛門督ゝどゆゝゝ

なゝゝゝうゝまゝゝ 咲 花

ゝうゝはゝうゝゝゝん 咲 ゝうゝ

ゝ四ゝゝ花ゝゝれゝゝ八四衛ゝ

くゆゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝ戸ゝよ扇ゝゝゝゝゝ壷

の衛ゝはゝ須ゝかゝうゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝ

乳母

乳母

源氏の

孟蘇生又活

孟蘇隊百業

孟蘇生又活

一念五百生の人々

草記 忠君の忠

孟蘇

尾君の御

細 尾よりうと仕侍りて

細 侯の何く三歳

の〜〜なりて　孟長而歌
為人日
きりあれハ　みてくまひ
そふるもきりあれハ袋ヨ
もえあひえどとものく

〜〜別ハ　世の中よ
ものの別のなくもがれ
よ代りく行るへのみれさ
ぬ　此方のへ絶をとれり
きぬ別とハ死別のきえ
去ぐとき別とえん
なくるみ〜ん　死をうわ
れのなくもがるとかりめを
とりてやら絶し
げふとへハ　異本よけ世ま
ぬ人ハとあり世ハ去ぐ
ミ原と乳母の子の流るぬ
るとふく

りのしまひよきるみぐりてぐしへあま
猶者よこ〜〜り　細左馬の乳母よとうまる
さあるやうなりしとぐりしく
つぐるとぐらしまなくるんゆりはくしひ
とくるよりてて長いぐうりわれハ名みを
えくをくるんのまくみをうしまうつ
ろくいるるれどだ紙久しくふめんをぬ
けいなるくぐゆるとそしぬ別いを
なてどーのうひまくるれ神のありひをいと
雨をくきぐくりくらくるいけよそへで
くくとえるようあるくをそうとあま
とえうくとくくるぬへのはくをそうとあま
ぐとりどうくくくくみるうみたもくれくらふ

ろくこう明星く　紙燭ハ紙束
とるく
義はやが　此法ハどくくきさ
あるとハ　乳母と同ふ
の逢ふくぬやうるれど
ちくくをくしたくるひ
らくをるひく神経とく
ふ絶ふうくハ絶縁ハ明わ
絶ふくしく絶ふうよ図を
くれるれたくなり　細ふあてふ
ふあてふくハ源氏ふく
ふまくくくく猫ふくるよ
うて花の光もをひう
しいりくくくくう
るれくとおくくのふどく
くてあくくふ義ふくく
或説云この千夕典のこの
女ふくもの源氏の車とハ
中ねくくんて強てやりしと
そりうくとの他ふハ女ふて
ふくくくくくくくくくくくく
法あるくりうくくめや　細流

りくれくりくり　細法とくくくくくくくくくくくくく
法ふどくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくく
く

時花盃清酒其外あり。学者思惟もことさめや
[illegible]
[illegible]
病者
[illegible]
病をや尼君の看病ゆへ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

綱雲力の　細川ガラシャ

中務

綱雲力のうれもやうぬぎすてゝ　源氏の御子たちの御文をうれしとて
ゆかとしあぬとそうつくし　山里の人はいとうれしうとて
こえあるとて　ゆやけぐしとみどこう
これあなたし　花の山里の童女　細川源の五つれ　殿上童
ぐしこのもうぐしさしうめうさうしぬ
このもとて　雪けぐよ　花のゆうよもぐつまく
あさぐやゆりうく　紅葉　細川下蔵の
わしぎ　ゆりうよりうしうまうんぐよら
ろうあまうしぬいるしりの　情　ぬしぐは
を　花のぐはいるとやうしいゆしり
あやこのはひりとうあうりいはぐく
ゆけてく　源氏の
よつけくわぐうあしくもうふむうとうつう
まつうせだうやとゆぐひぐいうられし

あさかりしうまうふと中将のうよりうるすはかりとあうやうう
ようみまくこれは山里の女ぐるものかつひとうぐし　細川　よりうは
義女とうまめ　兵男しうへきう　明　源氏のかりうは別勅の
女もるよりうきい指ぬさを用ゆうまわりうくそれつまもうあ
ようう
山ゆはし花のうけ　河　古今序よ新とあるる山人の花乃歌よ休ゆうとうう
うちうかや
りうくうよつあてりうぐーしとうぬを　義　不重生男の重生女　長恨歌
ゆうーくうあても
はのうくのゆーさうよ色
てもそあうりうまうせ
うやとうく
うくうや　義　あうるうあ
中間よ別のうとうのくよ
あのうをはうーふうく
ぬりく物作ようまり
惟光うあつうり　細川　夕顔の
家りのうまく花多作光を
源のういはうミのぬりうまけ
うまでうれとあつうりと
ハうと　師　うれうるあるひよ
くみうくの花ひつけー
ううぬや

あうりうとうぬうとなどもうりうんいやーさ
ぬうくうも　源氏の　れこのれあうりうまうりうんとうひ
ううぬうあうりうりうりてうりうめべうさ法
ううそうまつうう　人のむうーものくうをうひうう
いつぐいをうりうまうりうんあのうれうとう
けてーもぬせめ紙ぬりうるうさうーよ
　惟光外法の星うりうく　蝶わきうを法
うべうぬりうやうの作光うあげうりの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いせ物語のこゝろをとりて
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八月　ハチグハチ　ハツキ　ヤヨヒ

毛詩生民之篇。
誕后稷穡所刃切說文穀可収曰穡又遊仙窟云家業倫滑河氏業ナリハヒ
孟稔農順和名抄東作稼穡日農業日本紀田宅日

[illegible]

細夕良の天公大[illegible]
[illegible]
人[illegible]
[illegible]

[illegible]

ゴホゴホ　称名院点
ゴホゴホ　三光院点
孟元の[illegible]
[illegible]
[illegible]

踏青、見也

孟確音斟又

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

誓願額并地獄ふて額并云く　万六帖

いと長り勢の者よ　係氏のちやつと笑ふて現世の行ゝ年くらやとくらくす浄ゝ

わゝでくゝあさくゝんく是ハ南無をいのくゝ　河　朝露貧者和久陽愛子孫

南無南無尊師　細　金剛義玉ハ迎接　現在観音南無係勤ちり係勤の者世代時世よくべ

さ金とまり浄土也仏みくけ精をよ係勤を礼ちり係勤の雅迎の付属とうもて一生補処

の業薄とも第一滅劫のらめよ下生浄土也成仏して三会よ説法をべさあよ南無尊師

とくく明　ゝ礼をう尊みくゝけさくゝじくゝ空和ふちり

れくゝ　ゝ　盂　係何ぐ多良よゝ世ぐりふくハあくゝ者世ゝて変ちんくく　師後前よ

もこの世のくゝぬ変ゝてゝのめゝふくとありゝ行くもゝ世ぐりとい思ゝ変世ゝて

と礼ゝりられも変ぐくゝれくゝまくいあれくゝくとふよゝ

係

うばくゝぐとくゝふ石をちゝべゝくくん世も

くゝぐくゝ　細　南無南無尊師

ゝてと変くゝぐくゝくゝ

ちくゝくゝくゝとくゝふ山の推

ぐくゝあくゝぐくゝしくゝ

ふくゝあくゝね

河　優婆塞ハ俗ゝぐ〜仏弟

さよ入ゝ四部ゝふの一也

温槃経云善男善女受三

帰依是則名為優婆塞

生生夜のふくゝさめ〜

盂　七月七日長生殿夜半

無人私語時在天願作比

翼鳥在地願作連理枝長恨哥　師玄宗く物貴妃の変ハ未とけどちりめれぐゆ〜く

てと以ちりくゝとくゝんくゝひくゝてくゝ分のゝくゝくゝのちくゝいくゝよハゝくゝぐてく

ちくゝ　くゝぐくゝくゝ　万　事痛　細　ちりくゝちくゝ　河　従天竺入滅至慈恭出世間五十七億

六十百年歳ちくゝ係勤下生経よハ特来久遠劫世間因也南閻浮提成仏ちく

ちれの世乃　ゝ　ゝくゝくゝの世代変とハ弟世の宿因也南閻浮提ちくれハ現在くゝのくゝ今生ゝ成ちれ未来

よ礼ゝ和ゝ〜〜〜分ちくゝくゝくゝ　細　分のゝくゝのくゝくゝよハ未生ゝくゝでハ伝れくゝの

くゝのゝくゝぐくゝくゝ　明　見仏在因ゝて未来の果を知ゝぐくゝちり

ちくゝのくゝちくゝ　細　係のゝ和ゝくゝ代ゝ十のゝくゝ面も地ゝくゝくゝくゝう沈ゝくゝ海ゝくゝぐゝ者

ちくゝくゝ絡ゝ　幾　他ゝの批判ゝくゝ代ゝ和ゝくゝくゝ侯早世の弟表ゝ分ゝ礼風雅絡ゝ思ゝ〜

いくゝくゝ月よ　細　沙花ゝ者ちゝ

れ行ゝり家ハ十ゝ和の月の　幾　月ハ山の端よ入る

ゝ今ゝよ山の端ゝよ〜〜〜〜　河　ゝ

ゝくゝ面　河海よ山の端ゝよ〜〜〜

ゝ月をゝでんくゝくゝくゝて

ちくゝよ和ゝでゝくゝくゝのくゝん

の月ゝ十百代月の山乃ゝ月

代ゝ行ゝて山ゝゝくゝハゝちくゝ

ゝくゝ位ゝくゝくゝハゝちくゝ

ゝ　稍豫　細　ちゝ

百ゝ山の八十ゝ月のゝ行ゝ

ゝ木よゝくゝくゝ枝のゝ行ゝ木ゝ

ちくれちゝちゝくゝくゝ

ちくれちゝくゝくゝ

百ゝ変ゝよハ不和和歴ゝ者

ちくゝて十六日ゝくゝ行ゝ

ゆゑなり　細　不意也、卒尓とも書也　孟　水原抜出とうあへぬ人〻業を不ことの多いとうあへぬ
ことのもとなり、卒尓も今のいまよりかれ
ことのもとの儀　細　河海にみえたり河原院と号六条源大臣源融卿の邸也大納言源朝臣奉進院
六条院に此院故左大臣源融卿の邸也

河原院の事
細　平生人をもてなすこと
はなはだ多し　孟　諸
院に別當あり河に寄

なぐさめかねてもとの
ものがたりのこと
ものがたりのこと
ものがたりのこと

師 [illegible]

[illegible]

細 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

師 扇の絵ゆゑ
夕顔よひもしく 細 歌と
と所しもとつくゑ
よそれ〜ぞそろし
師 しとをけく〜〜〜
ひ〜〜いかう〜〜歌を
あ〜〜〜〜〜〜〜〜
く歌とあ〜〜て夕顔
えゑふ〜〜の夕顔の帝と
とりぶ帝よ〜〜〜〜
〜〜〜〜〜〜〜〜
夢のひ〜〜〜〜〜
わ〜はの〜〜〜〜〜
んあ〜〜〜〜〜〜
の〜〜〜〜〜〜〜
いる〜〜〜〜〜〜
〜〜〜〜〜〜〜〜
〜〜〜〜〜〜〜〜
〜〜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こゝろのうちをたゞしくなるこゝろをとわそゆゑ
細々良工ハ三位のじもあく
を俗性うもなきをとく
こゝろのうちをたゞしくいとめぐゆゑ
てごこゝろのいとうつくしの人とうるされ
ら無れとそこのいとうつくしの人とうるされ
こうんとすこしうるはしりのゆゑとそこうるん
らてゆゑうるさまつれゆゑもこよりゆゑ
ゆゑてゆゑうるさまつれゆゑもこよりゆゑ
うるはしりのゆゑとそこうるん
ゆゑてゆゑうるさまつれゆゑもこよりゆゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さぶらひよりをとりて、ものうまへ、ばかりよりて、蹴口のよりあり。殿井戸と云も名謂とぞきこゆ。
蹴口、式人わりあてられも、夜の剣乃ぶすまの
細延喜近衛式、允行夜者内裏官人一人近衛一人　起寅一刻　近子四刻　但　右起丑一刻　近寅四刻
のるるれば、はやくりよりひとをもり
いとうとうとぶらうんぢ　太をのこ、ものとあるうのうち、のりのみちやとぶらのぶきのくれん
ちりくれば、ぶ、作くく

ぶ、人よりて　細　夕霧とう
て太迦が　師　夕霧よりてわりなくも
のみそうう思ふこと
ちり
ぶとうう、ひとて　夕霧の
上よ　ぢくりのゆぢ
ゆふこと、ふのりひてき
ぐりちく

法九位をひきしてく
ふのあつ、ひきしてく
女房をへぐて、蹴口をとる
なり

ぐりぐりのうちのあうちぐれぐりぐ御して
作りかり、ぶ、人よりてりなくゆきさる
めとしへぐ、そよみどうう、ひとてがいさぐりあ
ぶ、よいきもとぐ、ひきうぐりまへとな
よくとして、ぶ、ものあるあるれいと
ふゆきるぶ、人びとうへくりのよ、ぶどくれぬ
ちりかりめりとんうるうきうちしあふ
そくりてまつわりたをもうぐべきあ
よもあ、ねいらうこれを、ぶをひきしをて。

ぶ、ぶりてまつられ
細蹴口、ふをぶをれて出く
まつ、ぶりかりれて
まつまと作りく

じりのうち　ひ、寛
平法皇京極のれ息所と同
車して河原院よ海つ
くちり対源融の昊さ
まとりて息所を入ぬ
ぶ、ぶよ海ぶ船して藻
生しまひしりの海ぶ
ぶれいへも　細　紙ぶも殿帥
あれいも吾身のよりも去
まして、ぶひて公君のをと
いうと思とり

ぶ、ぶりてまつれとのまふ例をしぬしとみて
長柳
ぶ、ちくもえまいくぬつもしさよりげ
殿居のうく
しみもえのりくどりぶりくやこそ
れ家とを
よちくひくくく

[illegible] 江談ニ云 河原院京極御息所半死ス 石浄蔵大法師今加持絶入蘇生云々 其後車ニ抱乗テ還御件戸面ニ有打物跡 是河海ト同時ノ事 [illegible] 法師ハ如何ナル [illegible]

[illegible] 挟合 [illegible] 前ニ見ル [illegible] 細 [illegible] 細 [illegible] 南殿 紫宸殿也 [illegible] 細 [illegible] 細 [illegible] 細

[illegible]

[illegible]

[illegible]

爲證哥云

命をかけて　ちはやふるよあれ
ちる陰のくさ久奥の矢く
ちりまへ原も何とちり
きんをもちりねは父貴
と行ちる南枕ちる
よ命よのくるうきめをこ
ぶそくく

枕草子あるまゝ
細有蚕よんりけるあるす
の空ちるそらきむくひ
うとはなもこ
ものぶともせよあるるく
れる

師中庸云君子戒慎乎其所不睹恐懼乎其所不聞莫見乎隱莫顯乎微故君子慎其獨也

ちをとゝのみのけるひ
細始ハ惟光ノ吾妻ノ人
の分ミてありとする
と思ふ

れひくり
原ひくりき〻ひくりき
し行ハ太近のすゝもの惟光
されねが惟光のまてく
すきくをかゝをあ
ゝ家みるれひくりき
しきこんすとあり
ひ人よりきとのくく
花杜子義詩云驚定初枕淚

とゝのくく　河秋まく
孟俄のゝ伊勢物語よ
まれどうにとみのく
てゆ文ありとく

ちをとゝのみのけるひ
細始ハ惟光ノ吾妻ノ人
の分ミてありとする
と思ふ

れひくり
原ひくりき〻ひくりき
し行ハ太近のすゝもの惟光
されねが惟光のまてく
すきくをかゝをあ
ゝ家みるれひくりき
しきこんすとあり
ひ人よりきとのくく
花杜子義詩云驚定初枕淚

とゝのくく　河秋まく
孟俄のゝ伊勢物語よ
まれどうにとみのく
てゆ文ありとく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孟日本紀云水神罔象女
罔象此曰美都波伊弉諾
尊貴至神也髮白て老嫗
体へと以りて[illegible]
紙ものこ[illegible]川のう
ちとびまで老よろよれ
一反年[illegible]ゆれば腰
[illegible]せぐまりて二の膝
くりかゝり中よりら
まりて三の指とな
ゆれうがめくく[illegible]一反
山羽を表紙よりとき
[illegible]
師今俗よんでうとうちと
[illegible]
[illegible]
雉之夕魚と出よいぐく[illegible]
あるれよ遊てて[illegible]
孟弘仁八年八月従三位橘
朝臣常子薨[illegible]
[illegible]
[illegible]

三輪義波
細原[illegible]

[illegible]山のへんよ[illegible]
れ[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
頭痛熱氣[illegible]
[illegible]

[illegible]
帝[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

孟嚬病 咳嚬病

細 久中ねよりの文

物授よりてのゝ入をく保の内へ手ゝぬ中とのゝ其内い天ゝ入ゝ入と云て立てゝ立ゆりて紙ゝ

細 久中ねのゝ

細 久中ねよりの文

細 長上の内方へ

細 久中ねよりの文

細 久中ねよりの文

細 久中ねよりの文

けしに若みし
孟 世の中にうきもうきもうきも

[illegible]

細 [illegible]
[illegible] 孟 葬礼の[illegible]をれてこ
[illegible]
[illegible] 師 細孟 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
細惟光[illegible]
[illegible]
孟 [illegible]
[illegible]
[illegible]

のぐあやしげなる法師あり
それはどのさぶらひのあるべきかはかりなくたち
[illegible] 細惟光の[illegible]
[illegible]
[illegible] 師
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

その屋よりハ女ひとりゐてこ
ゑのうしてとの方にゐし
ゐ〳〵二三人ゐ侍りして
との方とハ女のゐる家のゐ
方へ〳〵ゑとゝなへぬ念仏
ハ女の聲のゝとゝ〳〵
ゑとゝなへぬ念仏
孟西葬送ハ花ハ五言念仏
得十五功法之由見聖教
清水の方へ
細十七日の条後の人乃換
也 西 寛亀十一年 初建
立 延暦廿四年 官府界
四至 以田村丸 私宅 寄
附 之〳〵
このゐまゑハ乃ゐなり
細 惟之朝臣文の乳母之家
ゐ者みゐ〳〵女ゐ〳〵の尼そ
ゐ侍ゐ乃山のをゐ〳〵
大法 行功のつゐ〳〵ゐとゝ
大とゐ〳〵ゐ〳〵て大とゐ〳〵の
ゐ〳〵

表ゐ〳〵ゐ〳〵のゐげほのゐ
その屋ハ女ひとゐ〳〵ゐ〳〵ゐ〳〵
ゐ〳〵ゐ〳〵

孟杜子義詩死別已呑聲
生別常側目作者万古生
死ともよ別は遠ちなく
とあるもく多も
幾とこれてもさきどちて
もタ点のちるなくなれる
をゆうよ跡はるもく
人もたにうきりる命
でとく
くゝふ紙多こそハ
細ゆくにたをよ紙を礼め
との跡へども又者多もあ
やゝく堪ぐきとく

ゆくとうとくとく
ゆくこくとばさろ和みくくよいひさはれ
ゆくんがつうぐきくくひくなうきまぐひ
て煙よしぐびてちくひまつりまんとてぐこ
細原のたをとこうとなくまわまつく
とくうれどさまん世中いあるわうねふ
りのくうすくぬいまゝとあるもうもも
礼じ命のくぐりあるりのよまんあるふる
ぐまあて、まれをこのめとのまひこら
へてもぐくいふ紙多こそハいうこまきまく
さんちもれとの結も孟双地これりしげゐ
や惟えれハ明ぐくみたりは和ゆくんだこや
くくせまひまんとまゆればくりこのをを
られてひねもつくふぐりていぐくまふ

いくくぐくさ紙多ハ
細前の者も後く者ろき
よ慶とうえあけのつれハ
内神もいくくわまにはろ
いつ一もくやハ人の
ゆれのと思ゆ紙べく
師くくさんいもぐひのわ
めよいく者よ遠方を
くまふくちくしまく
内ぞのくれくろ
細原の紙内そとせるひ
くう共ろうあくさあく
ひあうふく
内くミの和くまそ孟陂塘堤
礼防鴨河使とふいくくを
後くもひにのつくをたう
人くまく
くくくくのゆくてくれ
ゆぐき孟放埼いろく
よなりやくろくく
ふちてゆくれ後もちばくの
くくをのくくみてまふふ紙
別ハをてつんとぐくもちく

くくくくさ紙多ハ
細前の者も後く者ろき
よ慶とうえあけのつれハ
内神もいくくわまにはろ
いつ一もくやハ人の
ゆれのと思ゆ紙べく
師くくさんいもぐひのわ
めよいく者よ遠方を
くまふくちくしまく
内ぞのくれくろ
細原の紙内そとせるひ
くう共ろうあくさあく
ひあうふく
内くミの和くまそ孟陂塘堤
礼防鴨河使とふいくくを
後くもひにのつくをたう
人くまく
くくくくのゆくてくれ
ゆぐき孟放埼いろく
よなりやくろくく
ふちてゆくれ後もちばくの
くくをのくくみてまふふ紙
別ハをてつんとぐくもちく

くくくくさ紙多ハ
細前の者も後く者ろき
よ慶とうえあけのつれハ
内神もいくくわまにはろ
いつ一もくやハ人の
ゆれのと思ゆ紙べく
師くくさんいもぐひのわ
めよいく者よ遠方を
くまふくちくしまく
内ぞのくれくろ
細原の紙内そとせるひ
くう共ろうあくさあく
ひあうふく
内くミの和くまそ孟陂塘堤
礼防鴨河使とふいくくを
後くもひにのつくをたう
人くまく
くくくくのゆくてくれ
ゆぐき孟放埼いろく
よなりやくろくく
ふちてゆくれ後もちばくの
くくをのくくみてまふふ紙
別ハをてつんとぐくもちく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

細 服装のさ法さく佐く
あり不可用之記明花伝
ゝ之し肥てさ法さく
さく・松まつの移よ四し
行清少納言松まつ
ゝ
ゝさ男の自帷さゝとあ
五隔之法佐成ゝよ侯ゝく
比花伝のゐと切ゝ
ゝ付さゝにゝさゝ
ゝくゝを初まの時分・且又区
密ゝ之ゝ名服ゝゝ
ゝとゝゝれゝに清が約
松まつゝもゝゝとゝ
変をゝれゝゝ
ゝゝく服の装と之装
ゝゝとゝゝさゝゝ
ゝとい文音お亜のゝゝ
も通用つのゝゝだゝの
ゝくゝゝく文ゝゝさゝ
一説服装装主君の服まゝ
う枇杷大納言延喜之上皇
間ゝ村上天皇御服不輝
物ゝ比ゝ例ゝ佐成

ぎゝゝとゝひゝゝと・りてゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ・ゝハいゝゝゝ落ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ細ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ

[illegible]八月十六日ゝ[illegible]
いろくハ九月十六日ゝ[illegible]の
[illegible]

有とのわつゝ車　孟尚ち
[illegible]仕の[illegible]日車く　細　[illegible]
の[illegible]

[illegible]
師後　夕[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

れいとゝんかやしさかゝて
その人し　孟あやしさ
みてゆくゝもしゝみて
ハ[illegible]

[illegible]つゝ[illegible]
細[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

なくくもくふはぐゆの
細施一切衆生の為よりはれる
毒箭を抜き去りの弄會弘一
さ〻〻ひをぐれうちひい
いつの世よりくぐるのくれ
私云ふてしは解脱の義なり
幾々人孫孫の功德とゆて一生
のの〻共よ解脱の門入ることを
この行をしい　細写九日三
中有にぐらふく幾四九
日のうは中有ようて三義也
ぬれはそ　識の生処六道輪廻
いきこ定まるに仍造仏造塔
等の善根を流して善果を
助けりんと中陰経の説と
又云天台等の心は極悪極善の
衆生は中有を経ずして直ち
生れ来る中ねもく法相
一宗の義は善人悪人の差別と
まるく皆必中有の位をして
生を招ぐべきなり

させもうきもう　あよ布施物の紫木のうあうえん
ぐくのくろ海をとうり
させて
保
たくくもくふい紙ゆをてひの紙いづまの
せようをけくくうぐるぐ保ぐてぐうな
ぬれいうれの通ようぐまりてゆりしくらんと
ぬしやりて行んどをいと表みしまふ
頸中ねをうまふみもおいりしねさけぐて
めうぐてこの中ひくれまを候うをせまねし
細ねうくこの
幾はくうぐしよをぐてうちお結ぐすうの
文殊の前よハ夕貝のいうてへ行ってんとうう
ぐねのやぐうよいいづくさみしやひまぐ
そのまくよえ彩ねゆくぐ太をぐるよしく
づまねばおやしとゆりひちげきあへて

ゆをあること　西　惟光
ぐしハ如うり仰惟光もも
うりえりしまふうす
私のあくくもまくまく
ぬさ海をうんあうり
りふ風のうくも
細自然変化の衆生
貝をうりて中ねまぐ
でうりて西へくくうり
ようるとも思く
此赤あくそ　細揚名参
素ハ嫡女ぐ又一人ハうしに
位付くうり一人ハのぐりき
おうくうの中に三ようり飛日
太をいくくくうれい
細前よりおぐくくたをい
別乃めのとれまく
ひつぐて
夕貝の冷れめのとうぐ
りハ流ふおりて三せ
ぬくくなり
太をうくうゆく　西　太を
はうをえくうばうぐにい
人行にこ用物をうく

惟光　惟光をゆくあをとそうんを
西　惟光
ねどけうひとぐうりめやと
西　惟光
ぐくまくく
ぐば惟光をとくくれど
とうけくるれ勢をたくいひみしてなくと
ぬじじすきあうくれだいぐゆめ
のくうくてずうくのまぐもうをと
きぐきぐ歌のをようゆくしてやぐく
みてぐうりもうめやくくひうりきうこ
夕貝の家あくぐ
の氣ありぐぐみくの氣乃めれとのひと央
なうもう　法師人そのこはありて太をいくく人
ぬくれぐ
ひ海てぐぐうう海とくうをぬうり
きうくとくひくり太をいてこうくう海
しくいひきはれんどうひて氣もいまくう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

こまやかなるなり　細　素みも仏法のようなるこゝろ　作　或説作ゝか　空蟬同じこゝろ　源氏よりつゝみ　暗を隠

蜻のうもれもてゆくなり　作　もの　けいの衣　今は衣のなるなり　義　衣とうゝもとは

わいさうの人のなるべきなれとゝとゝとゝとゝ　細　もの　けいの衣　今は衣のなるなり　義　衣とうゝもとは

あるべしうゝもくぬ　義　源のゝよ　源がるを　作　不思義なる世のゝよ　作

んつゝく源よりうゝるれるいうゝとゝしてゝ　細　主　河海　ものゝ　色　蜀

きゝゝゝ　義　九月の末なるゝ　細　主　河海　ものゝ　色　蜀

いゝゝゝ　義　九月の末なるゝ　細　主　河海　ものゝ　色　蜀

ゝゝ　孟　清潤　女体

ゝゝもゝゝゝ